

2008年度 情報システム・バックアップオフィス 研究会（ITBO研）の活動報告

2009年4月21日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
情報システム・バックアップオフィス研究会(ITBO)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1. 研究会活動目的

◆情報システム研究会

- 事業継続を支える情報システムの対策の現状、課題の調査分析と、課題解決に向けた各種研究活動の推進

◆バックアップオフィス研究会

- 事業継続を支えるバックアップ・オフィスの現状調査分析を通じ、必要な機能／要素を洗い出し、それに対する現状の問題点／課題解決に向けた各種研究活動を推進

相互に関係しているため共同で実施

2. 研究会メンバー構成

◆研究会メンバー構成 (2009年3月31日時点) 敬称略

- 座長 : 大塚 純一 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
- 副座長 : 川村 丹美 (株式会社シーエーシー)
- 副座長 : 関山 雄介 (大成建設株式会社)
- コアメンバー : (5名)
 - 近藤 隆一 (株式会社富士通エフサス)
 - 土橋 篤 (みずほ情報総研)
 - 間 博之 (富士通エフ・アイ・ピー株式会社)
 - 羽石 将士 (株式会社 日立製作所)
 - 衣笠 宗彦 (株式会社モア・イフェクト)
- ITBO研究会会員 : 43名 (6. 研究会員リスト参照)
座長、副座長、コアメンバー含む)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

3. 活動実績

◆ 定例研究会の開催（全8回）

	日付	活動内容		出席人数	その他
		講演・発表 発表者（所属）	テーマ活動		
第1回	2008/09/04（木）	「次世代データ分散ネットワークのご紹介」 加藤健様（宇宙通信）	研究会活動の進め方 ディスカッション	21名	
第2回	2008/10/02（木）	「データ保護を実現するIBM ソリューション」 内山豊和様（IBM）	活動テーマの検討、合意	16名	
第3回	2008/11/06（木）	「ITILにおけるサービス継続性管理（ISCM）の 位置づけ」野村 紀美様（シーエーシー）	チーム活動キックオフ	17名	
第4回	2008/12/04（木）	「事業継続のためのリスク対策」 櫻井義人様（NTTファシリティーズ）	チーム活動# 1	20名	忘年会（出席13名）
第5回	2009/01/08（木）	「BCPIにおける職員参集検討 パスコプロダクトと金融機関様の事例紹介 セコムグループ防災支援サービス」 杉野弘典様（パスコ）	チーム活動# 2	17名	
第6回	2009/02/05（木）	なし	チーム活動# 3	15名	
第7回	2009/03/05（木）	なし	まとめと発表	16名	
第8回	2009/04/02（木）	「BCAO事務局から最新トピック」 細坪事務局長（BCAO）	活動報告書まとめ	16名	

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆趣旨

- IT・BO視点のガイドラインを使いたいと思っている人が、どのガイドラインを選択したらよいかの情報を提供するために...
- まず、ガイドラインを知ることから始め、今後の研究テーマ選定につなげるための活動とする

ITBOの活動目的である...
ITBOとして、どのように効果的にBCPを策定しBCM
実現できるかを研究し提言する

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆ 対象としたガイドライン

- ① 経産省 ITサービス継続ガイドライン
- ② 経産省 BCPガイドライン
- ③ 総務省 自治体向けITサービス継続ガイドライン
- ④ BSI PAS77 (有償)
- ⑤ 内閣府 事業継続ガイドライン

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆ 活動チームメンバー

(敬称略)

	① 経産省 ITサービス継続ガイドライン	② 経産省 BCPガイドライン	③ 総務省 自治体向けITサービス継続ガイドライン	④ BSI PAS77	⑤ 内閣府 事業継続ガイドライン
リーダー	近藤隆一(FSAS)	土橋 篤(みずほ情報総研)	間 博之(FIP)	羽石 将士(日立)	衣笠 宗彦(モア・イフェクト)
メンバー	木村義昭(JBCC)	安藤黄太(TIS)	富田真一(NTTファシリテーズ)	山下晋也(IBM)	池田竜隆(ワンビシ)
メンバー	久間 司(ITSS)	山本 匡(損保ジャパンリスクマネジメント)	山浦 政弘(IBM)		加藤誠(日立)
メンバー	小澤 仁(IBM)	宮角良介(e-経営推進室)	江崎浩輔(NTT東)		杉野弘典(パスコ)
メンバー	堀 博英(岡三証券)	下吹越正弘(内田洋行)	田野岡直人(大英電機)		高屋正裕(NEC)
メンバー	矢ノ根俊之(富士通総研)	磯部秀敏(中電CTI)	小山 高美(電算)		吉田博彦(伊藤忠エネクス)
メンバー	吉川明人(NECネクサス)				中村 匡(富士通)
メンバー					関根 崇(AGS)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆ BCAO標準テキストの検討ステップをベースに5つのガイドライン比較

		①	②	③	④	⑤
1. 事業継続戦略策定プロセス		ITサービス継続ガイドライン	BCPガイドライン	自治体向けITサービス継続ガイドライン	PAS77	事業継続ガイドライン
	1-1. 現状認識と方針決定
	経営環境・方針・戦略の認識 現状のリスク対応状況の認識 事業継続実施方針と対象事業の決定 実施方法の決定				
	1-2. リスク分析					
	対象事業の脅威洗い出し リスクマッピング リスクアセスメント					
	1-3. ビジネスインパクト分析				
	重要業務の明確化 重要な要素・資源の把握 中断時の影響の時系列分析				

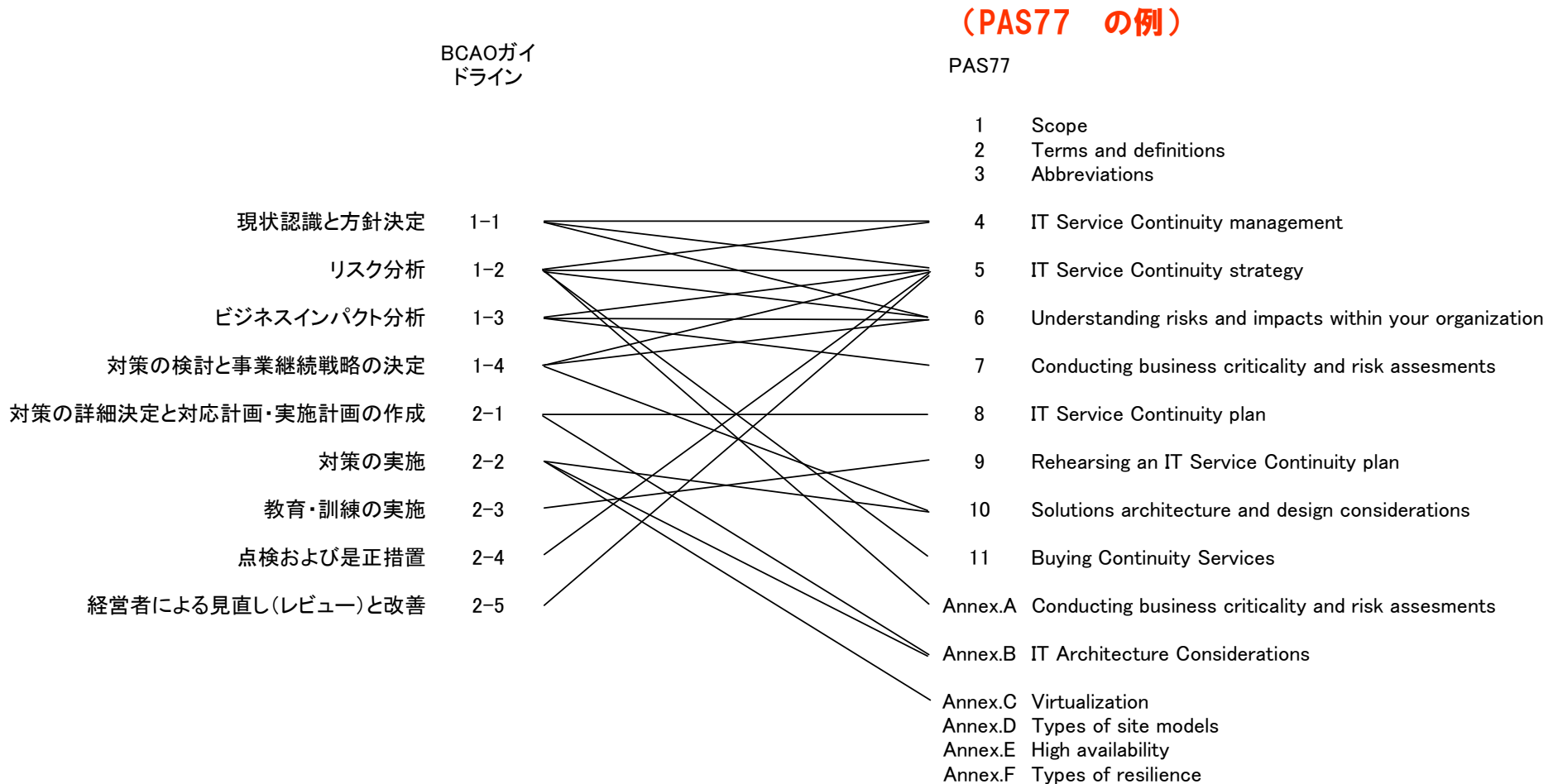
各ガイドラインの
1. 特徴、や
2. 何が足りないのか
を調査記述する

BCAO標準テキスト分類

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆ガイドラインの構成がまちまち. . .



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

・ ステップ1, 2, 3の順で記述

例（経産省 BCPガイドライン）
事業継続マネジメントの維持および改善

◆ステップ1=記載内容、要約、特徴など

➤情報システムの特質に合わせ、見直しの契機の例が8つ示されている

...

◆ステップ2=指摘事項（足りないところ）

➤見直しの契機として、不定期に発生する事項が示されている。BCAOプロセスでは「定期的な見直し」が中心。臨時に見直しを行なうべき契機を追加することが望まれる

◆ステップ3=課題、課題解決の方向性やアイデア、提言など（もしあれば）

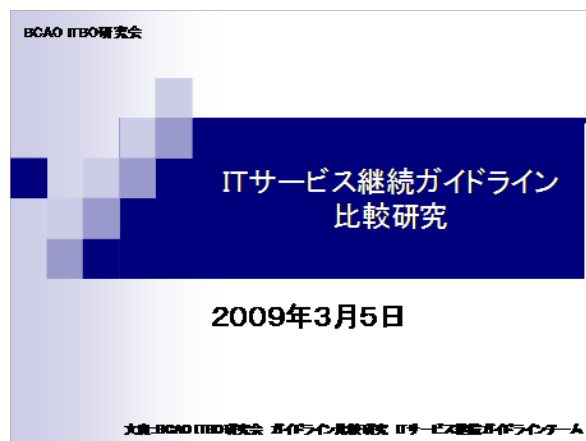
➤見直しの契機や変更したBCPの配布など、BCAOプロセスに盛り込むべき点もあり

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆ チーム検討発表（一部ご紹介）

（チーム1）経産省 ITサービス継続ガイドライン



3. BCAO標準テキストとの比較(特徴と指摘・提言)

1. 事業継続戦略策定プロセス

1-1 現状の認識と方針決定

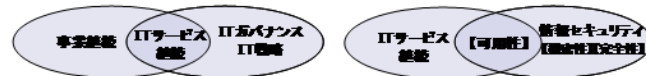
(1) 対応章: 2 ITサービス継続

(2) 記載内容、要約、特徴

- ・ITサービス継続は事業継続の一部
- ・ITサービス継続はIT戦略の一部ないしIT戦略の次位
- ・ITサービス継続は情報セキュリティの可用性の維持を含む

(3) 指摘・課題、提言

- ・現状の認識、方針決定でなく、ITサービス継続の位置づけ
- ・事業継続ガイドラインと一対をなすものであり、事業継続としての共通部分はあまり記述されていない。



7

十分な考察とよく纏まった資料です。

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆ チーム検討発表（一部ご紹介）

（チーム2）経産省 BCPガイドライン

ガイドライン比較研究報告

経済産業省
「事業継続計画策定ガイドライン」

IIBO研究会
ガイドライン比較研究第2チーム
安藤 黄太
磯部 秀敏
下吹越 正弘
土橋 篤
宮角 良介
山本 匡

2. 全体構成

第1章 基本的考え方
BCPの必要性や定義、一般的な構築の流れなどの概要を記載するとともに、BCPが求められる社会的背景やその特性、内外の動向などを説明。
第2章 組織（フレームワーク）

3. 指摘事項

(1) BIAに入る前の以下のステップが欠けている。
自社の置かれている位置付け確認
事業の全体像（機能、場所、依存関係等）の把握
経営環境・方針・戦略の確認

(2) 現状で可能な復旧時間とBIAで出した目標復旧時間との乖離の把握

4. ガイドの評価

(1) IT事故を想定した事業継続計画構築のガイドラインとの位置付けであり、そのことを理解して本書を利用すれば、初めの印象として生じる「部分的に評述されている。」、「ある部分では割切った考えを述べている。」などの記載の偏りが理解でき、実務的なガイドラインと評価できる。
(例) システムの事故状況と緊急度を4レベル定義し、経営への連絡範囲も定め、発動基準の明確化、自動化などと関連付けている。
情報システム復旧に当たっての選択肢

(2) BCPの実態をよく理解したうえで、通り一遍の教科書としてではなくBCPの構築をガイドしている。
(例) 「---被害を受けた経営資源の範囲や規模、関係先の状況等により、BCPについて様々な想定が可能であるため、より詳細な計画がより実効性のある計画とは限らないし、発動以降、状況を正確に把握するリスクコミュニケーションとそのため体制が重要。」

(3) 参考資料やベストプラクティス事例などは、企業内での説明にも有用と考えられる。

経産省BCPガイドライン

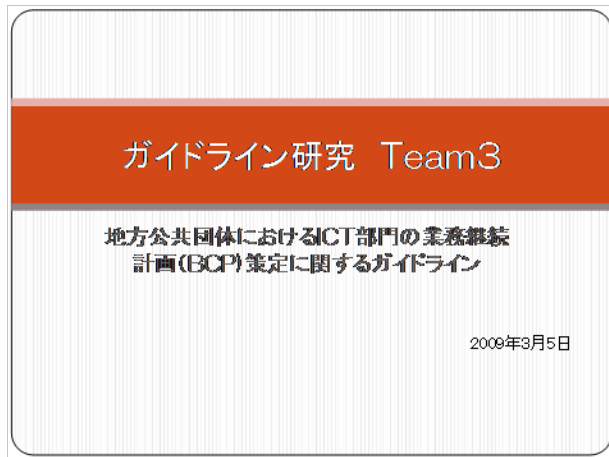
プロらしい指摘事項が参考になります

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆ チーム検討発表（一部ご紹介）

（チーム3）総務省 自治体向けITサービス継続ガイドライン



より充実したガイドラインのために

不足点	対応策
災害直後(0~6時間)を想定した対策の記述に不足がある	<ul style="list-style-type: none">-システム基盤や公共インフラに頼らない代替システム提供-システムに頼らない業務手順の作成-緊急時コミュニケーション手段導入(MCA、衛星等)-緊急時委員多集計画作成-被災家族のケア
被害想定/シナリオ作成方法についての記述が少ない	過去の被害を調査したり、外部コンサルなどを利用することも検討し、可能な限りリスクを減らすことを追加する
リスクアセスメントについて記述不足がある	<ul style="list-style-type: none">-ネットワーク機器の電源対策、電源設備の耐震性の確認-「雷害の対策」の追加-システム関連以外に確認すべき脆弱性に水供給を追加
教育についての記述が不足	-ICT部門及び全庁レベルでの教育計画を策定を追加
計画是正に関する記述が不足している	<ul style="list-style-type: none">-監査制度の導入-実施主体・チェックリストの取り扱いのルール化
行務計画見直しの要件・手順が不明確	<ul style="list-style-type: none">-マネジメントレビュー手法を用いることを記述-見直しのためのインプット、アウトプット項目を記述
教育・訓練から見直し・是正に繋げる手順が不明確	訓練結果からの課題抽出の報告形式を策定する。(様式集に追加)

初心者にも親切な解説です

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆ チーム検討発表（一部ご紹介）

（チーム4）

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 研究会活動報告資料
 Business Continuity Management Organization (BCAO)

ガイドラインの比較研究 PAS77

2009年3月5日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
ITBO研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

BCMを実現するプロセス（1）

		④
1. 危機管理計画策定プロセス		PAS77
1-1. 組織の現状と危機発生	組織の現状、主要な危機発生リスクの特定と評価、BCA0の 役割の明確化等 主要な危機発生リスクの特定、評価とBCA0の役割の明確化等 危機発生時の対応手順の策定 実施と評価	組織の現状、主要な危機発生リスクの特定と評価、BCA0の 役割の明確化等 主要な危機発生リスクの特定、評価とBCA0の役割の明確化等 危機発生時の対応手順の策定 実施と評価
1-2. BCPの策定		組織とBCA0の役割の明確化、BCA0の役割の明確化

BCMを実現するプロセス（2）

		④
2. 実施段階プロセス		PAS77
2-1. 対策の目標設定と実施計画・実施計画の作成	対策実施計画の作成 非常時の対応計画の作成 業務継続計画の作成	ITサービスとビジネスの関連性の高い実施の手順や、ITサービスへの 依存が顕著なITサービスについてはビジネスのITサービスへの依存 があるかを注釈した手順が記述されている。また、非常時対応や復旧 の際のフローチャートの提供があるが、これらチャートの作成手順の記 述が記述されていない。
2-2. 対策の実施	対策の実施	「アクション・プラン」や「実施計画」における考慮点に一致が図られ ており、併せてBCDEFと対策の実施がある。また、「緊急サービスの 復旧」の点においては海外運営も考慮の一つとして記載されており、長 期における事業継続の必要性がある。全体的にテクニカルな記載内容 が盛り込まれているが、対策の実行がITサービスにおいてどこまで詳 細に実施すべきかは記述されていない。
2-3. 教育・訓練の実施	教育・訓練の実施	ワークショップに関しては実施と記載されており、ワークショップの重 要な点と目的の提供がある。
2-4. 点検および見直し	対応計画・実施計画の点検および見直し 対応計画・実施計画の点検および見直し	ページに記載されている対応計画がないので、実施と記載されているが、 具体的な実施内容が記述されていない。
2-5. 経営者による賛成（レビュー）と改善	事業継続マネジメントの監視および改善	ITサービスが何の一部を構成しているのかを述べた上での適合性の有 る監視・改善の手順の提供が記述されている。

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

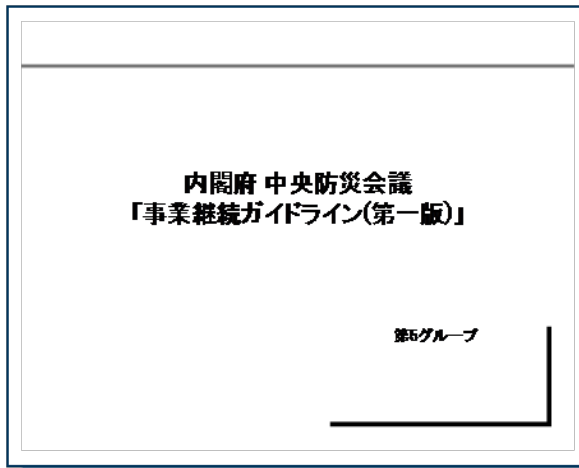
海外文献の紹介です、力作です

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 活動テーマ ガイドラインの比較研究

◆ チーム検討発表（一部ご紹介）

（チーム5）



評価

1. 政府が作成したガイドラインの中にはこのガイドラインを前提としているものが多く、国内のBCPの標準と位置づけられるものである。
2. BCPの入門書的な立場で作成されていると思われる。概略の考え方が示されているので、経営層や初めて担当する者が概念を学ぶ資料としては十分であるが、具体的な手順は示されていないため、実務書としては不向きである。
3. 記述内容の構成も、概念的には理解しやすいが詳細に見ると他のガイドラインとは少々異なる部分がある。
4. 解説書、文書構成モデル、チェックリストなどの関連資料がある。また、このガイドラインを前提としてより詳細な他のガイドラインも作成されている。これらと併せて使用することで具体的な理解が得られ、実務に効果的に利用できると思われる。

おなじみのガイドラインですが、ITBO視点の助言が適切です

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

5. 2009年度の活動計画

◆活動テーマ（案）

2008年の活動の成果を踏まえ、より発展させる

1.「ガイドラインの比較研究」から見えてきたテーマ

◆各ガイドラインの特徴を生かしながら、ユーザーにより親切な内容にするための工夫、アイデア

2.意外と知っているようで知らない、意味が曖昧なITBO用語の本当の意味は？

3.研究会メンバーの経験や知見をお互いに交換し共有

◆実効性を確認するさまざまなテスト、訓練、演習の種類と内容

◆最新のIT機能（バーチャルリアリティなど）を使った指示命令訓練、リハーサルの研究

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

5. 2009年度の活動計画

◆プレゼン（案）

◆従来の会員皆さんの発表・自己紹介に留まらず多種多様なゲストを招いて情報提供いただく

◆細坪BCAO事務局長 「BCAO最新トピック」

◆伊藤新型インフル研座長 「ITBO研への期待」

：

単なる情報収集だけでなく、会員の活動の場を広げるチャンス

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

6. 研究会メンバーリスト (1 / 2)

◆ 2009年3月31日時点

No	氏名	会社名
1	大塚純一	日本アイ・ビー・エム株式会社
2	関山 雄介	大成建設株式会社
3	川村 丹美	(株)シーエーシー
4	安藤黄太	TIS株式会社
5	永良浩一	コクヨ株式会社
6	磯部 秀敏	株式会社中電シーティーアイ
7	鬼塚 義春	NTTデータ
8	加藤誠	株式会社日立製作所(日立コンサルティング)
9	加藤永真	ソネットエンタテインメント株式会社
10	衣笠 宗彦	株式会社モア・イフェクト
11	小山 高美	株式会社 電算
12	近藤 隆一	株式会社富士通エフサス
13	下吹越 正弘	株式会社内田洋行
14	杉野弘典	株式会社パスコ
15	土橋 篤	みずほ情報総研

No	氏名	会社名
16	富田真一	(株)NTTファシリティーズ
17	佐藤 学	株式会社リコー
18	伊藤 高信	TeleContinuity, Inc
19	羽石 将士	株式会社 日立製作所
20	堀 博英	岡三証券
21	宮角 良介	e-経営推進室
22	山浦 政弘	日本アイ・ビー・エム株式会社
23	山下晋也	日本アイ・ビー・エム株式会社
24	吉川明人	NECネクサソリューションズ
25	木村義昭	日本ビジネスコンピューター株式会社
26	高屋 正裕	日本電気株式会社
27	山本 匡	損保ジャパン・リスクマネジメント
28	大嶋敏晴	ぴあ株式会社
29	江崎浩輔	NTT東日本
30	吉田博彦	伊藤忠エネクスサポート

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

ありがとうございました。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
情報システム・バックアップオフィス研究会
A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)